

病気も診て、人も診て

2月13日から4週間、下越病院で総合診療学の実習をさせていただきました。

外来実習では問診と身体診察を行いました。はじめは主訴、年齢、性別というわずかな情報しかないところから、問診を通してその訴えの全体像が見えていくことが面白かったです。次第に疾患が絞られていくのを感じられたり、逆に最初に想像していたものとは全く違うお話で戸惑ったりと、診断の面白さと難しさを感じることができました。

病棟実習では受け持ち患者さんを2人担当しました。毎日お会いすることで入院時からの変化を肌で感じることができ、家族や周囲との関わり、ADL、住居、趣味など日常生活について沢山お話することもできました。疾患の治療を行うだけではなく、患者さんが退院後どのように暮らしていくのか、何か支援すべきところはないかという視点で考えることが大切だと学びました。

今回の実習で得たものは今後の医師人生の基盤となると思います。下越病院の皆様、貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。